

三崎魚市場に水揚げされた魚類—XVI

山田 和彦・工藤 孝浩

Kazuhiko Yamada & Takahiro Kudo:
Fishes on Misaki Fisheries Market Landed from Sagami Bay, XVI

Summary. Ichthyofauna of Sagami Bay has been researched bay landing fishes of Misaki Fish Market, and 567 species has been recorded since 1986. In the paper, seven species are additionally recorded.

はじめに

筆者らは、相模湾の魚類層を明らかにするため、神奈川県三浦市にあるみうら漁業組合三崎沿岸販売所（以下、三崎魚市場）において、三浦半島周辺海域で漁獲される漁獲物の調査を、1986年より継続的に調査を行っている。これまで567種を報告した（山田・工藤, 2006）が、新たに記録された7種と、分類学的もしくは生態学的に事例の少ない4種について報告する。

調査方法

三崎魚市場に水揚げされる魚類のうち、相模湾で採集されたものについて、魚種、採集場所、採集方法を記録した。ここでいう相模湾とは、伊豆半島石廊崎と房総半島洲崎を結んだ線以北のうち、観音崎—富津岬以北の東京湾を除く海域とする。調査期間は2005年11月から2010年10月までの5年間である。1ヶ月に1回以上、合計98回の調査を行った。初記録となる魚種、現場で査定困難な魚種については採集し、写真撮影後、10%ホルマリンで固定した。標本は横須賀市自然・人文博物館魚類資料（YCM-P）として登録した。

調査結果

新たに記録された魚種について、通し番号、標準和名、学名、図版番号、採集年月日、採集場所および採集方法、体長（SL）か全長（TL）または体盤幅（DW）、登録番号ならびに分布状況の順に記載する。和名、学名および一般的な分布記録は中坊編（2000）に従った。

568. モンガラドウシ *Ophichthus erabo* (図 1-1)

2009年8月21日、藤沢沖定置網、TL 76.5cm, YCM-P44475.

千葉県以南のインド・西太平洋の温暖海域に分布する。相模湾では下田市白浜（松岡, 1972）、館山湾南部（林・伊藤, 1974）、油壺周辺（鈴木・岸, 1982）などから記録があるが、個体数は多くないようである。

569. カタボシイワシ *Sardinella lemuru* (図 1-2)

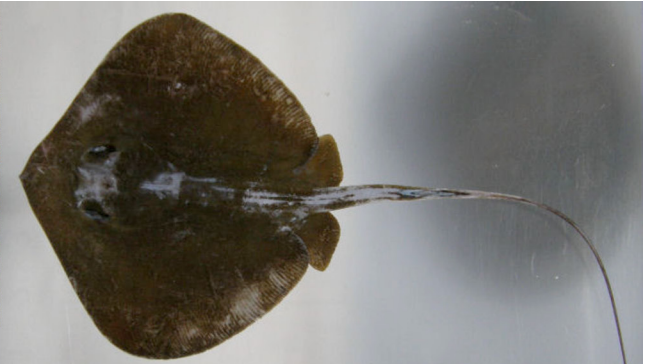
2010年10月7日、三戸定置網、SL 12.9cm, YCM-P44464.

南日本からオーストラリアの温暖海域に分布する。相模湾からは、初記録となる。黒潮分流の影響が考えられる。本種はサッパ *S. zunasi* に似るが、鰓蓋の後方から1本の黄色帯があるほか、体幅もサッパより広い。腹鰭軟条数もサッパの8に対し、9である。なお、工藤は2007年11月1日に、横須賀市西岸にある大楠定置網で、体長23.6cmの1個体を採集している（YCM-P44465）。

570. サクラダイ *Sacura margaritacea* (図 1-3)

2008年8月24日、毘沙門定置網、SL 9.9cm, YCM-P44106.

相模湾から長崎に分布する。相模湾では、文献記録だけを見ても下田市白浜（松岡, 1972）、熱海（瀬能ほか, 1998）、西湘定置網（林・西, 1980）、三浦市周辺（鈴木・岸, 1982）、館山湾南部（林・伊藤, 1974）など、ほぼ相模湾全域から記録がある。やや深い岩礁にすむため、定置網に入ることは少ない。



571. スジハナダイ *Pseudanthias fasciatus* (図 1-4)
2010 年 10 月 7 日, 毘沙門定置網, SL 10.2cm,
YCM-P44463.

南日本から西部太平洋に分布する。相模湾では伊豆大島(ナガハナダイ属の一種として, 瀬能, 1990), 熱海(瀬能ほか, 1998) から記録がある。やや深い岩礁に住むため, 採集記録は少ない。

572. リュウグウノヒメ *Pterycombus petersii* (図 1-5)
2009 年 2 月 3 日, 毘沙門定置網, SL 約 10cm.

東北地方以南のインド・太平洋に分布する。相模湾では近年の報告がない。沖合の中層に住むと考えられ, 定置網で漁獲されるのは稀である。相模湾沿岸では, 冬から春にかけて, 中深層性魚類の打ち上げや, 沿岸の定置網で漁獲されることが多い。残念ながら標本は得られなかった。

573. オオカマス *Sphyaena putnamiae* (図 1-6)
2008 年 11 月 3 日, 毘沙門定置網, SL 33.1cm,
YCM-P444107.

琉球列島以南のインド・西太平洋の温暖海域に分布する。相模湾では伊豆半島の田ノ浦湾(東ほか, 1989) から記録があるが, 成魚の記録は本個体が初めてと思われる。黒潮分流の波及が考えられる。

574. ケショウフグ *Arothron mappa* (図 1-7)
2007 年 11 月 4 日, 毘沙門定置網, SL 33.0cm.

和歌山県以南のインド・太平洋に分布するとされるが, 和歌山県以北でも記録されている。相模湾では小田原市米神(竹島, 1989) から記録がある。黒潮の波及が考えられる。標本は国立科学博物館で遺伝子分析資料として使用された。

アカエイ属の一種 *Dasyatis* sp. (図 1-8, 9)
2008 年 12 月 6 日, 藤沢沖定置網, DW 12.9cm,
YCM-P44108.

アカエイ *Dasyatis akajei* に似るが, アカエイは腹面が黄色く縁取られるのに対し, 本個体は背面と同じ暗い褐色となっている。このような特徴はシロエイ

Dasyatis laevis に見られる。しかし, シロエイでは体盤長の体盤幅に占める割合が 85%以下であるが, 本個体では 85%以上ある。アカエイの色彩変異とも考えられ, 種査定には詳しい検討が必要である。

サケ *Oncorhynchus keta* (図 1-10, 11)
2009 年 11 月 1 日, 毘沙門定置網, SL 約 70cm.

これまでも数年に一度, 相模湾沿岸の定置網で混獲され, あるいは河川に溯上することはあったが, 一度に見られる個体数は, 多くても数尾であった。しかし, 2009 年 10 月から 11 月にかけては, 多数のサケが来遊したとみられ, 相模湾に流入する酒匂川, 引地川, 小鮎川, 平戸永谷川, 和泉川, 竹川, 早川, 田越川の 8 河川にも 1~数十尾の遡上が見られた(勝呂, 私信)。三崎魚市場でも毘沙門定置網を中心に, 連日複数個体が水揚げされていた(11 月 1 日には 10 尾がまとまって漁獲された)。漁獲されたサケは, 婚姻色が現れオスでは吻部の変形した二次性徴の現れた個体ばかりであった。サケの自然溯上は利根川が南限とされるので, 今回のような多数のサケの南下は房総半島沖まで延びた冷水の影響が考えられる。三浦半島沿岸の定置網では, 例年 9 月から 11 月にはイトヒキアジやシマアジなど暖流性の魚類が多く見られるが, その中にサケが混ざっている光景は, 少々奇異に感じられた。

シマガツオ *Brama japonica* (図 1-12)
2010 年 4 月 21 日, 毘沙門定置網, SL 10.8cm,
YCM-P44401.

日本近海を含む北太平洋の亜熱帯から亜寒帯に分布する。日中は水深 400 m までの深層にいたのでキンメダイを狙った釣りで混獲される。夜間は表層に浮上するので, 三浦半島沿岸の定置網で漁獲されることもあった(山田, 未発表)が, 若魚が採集されることは少ないので記録にとどめた。

トラフグ属の雑種 Hybrid of *Takifugu* (図 1-13)
2010 年 4 月 30 日, 三戸定置網, SL 17.4mm,
YCM-P44523.

本個体は, 胸鰭後方に分割された 1 大斑紋があり, 背面には暗色の細かな斑紋があることからショウサイフグ *Takifugu snyderi* にもっとも近いと考えられる。しかし背面および腹部に微小ながら棘がある, 臀鰭が黄色い, 背面が青みがかかるなどショウサイフグにはない特徴も見られる。これらの特徴を持つフグとして考えられるのはゴマフグ *T. stictonotus* である。藤田(1988)によるとショウサイフグの産卵期は 6 月下旬から 7 月中旬, ゴマフグの産卵期は 5 月下旬から 6 月下旬とされている。ゴマフグの詳細な産卵行動の報告がないので両種の産卵行動の類似についてはわからないが, 産卵時期は両種で重なっており, 雑種ができる可能性は否定できない。なお, ショウサイフグは相模湾ではもっとも普通に見られるトラフグ属の 1 つであるが, ゴマフグはやや少ない。トラフグ属魚類は, そのほかの魚類と比べて自然雑種が非常に多い(山田ほか, 2007, 山田, 1997)。ショウサイフグとゴマフグの雑種と思われるものは 1 例が報告されている(山田, 1997)。

図 1 (左ページ). 1: モンガラドウシ *Ophichthus bonaparti*, YCM-P44475, TL 76.5 cm; 2: カタボシイワシ *Sardinella lemuru*, YCM-P44464, SL 12.9 cm; 3: サクラダイ *Sacura margaritacea*, YCM-P44106, ST 9.9 cm; 4: スジハナダイ *Pseudanthias fasciatus*, YCM-P44463, SL 10.2 cm; 5: リュウグウノヒメ *Pterycombus petersii*, SL 約 10 cm; 6: オオカマス *Sphyaena putnamiae*, YCM-P444107, SL 33.1 cm; 7: ケショウフグ *Arothron mappa*, SL 33.0 cm; 8, 9: アカエイ属の一種 *Dasyatis* sp., YCM-P44108, DW 12.9cm; 10, 11: サケ *Oncorhynchus keta*, SL 約 70 cm; 12: シマガツオ *Brama japonica*, YCM-P44401, SL 10.8 cm; 13: トラフグ属の雑種 Hybrid of *Takifugu*, YCM-P44523, SL 17.4cm.

おわりに

本報告を作成するに当たり、標本登録の便を図っていた横須賀市自然・人文博物館の萩原清司氏、神奈川県内の河川におけるサケの遡上状況について未発表資料を提供いただいた神奈川県水産技術センター内水面試験場の勝呂尚之氏、資料収集にご協力いただいた丸夕丸、丸共丸、共栄丸、諸磯丸、万七丸、三崎沿岸漁業協同組合ほかの方々に深く感謝する。

引用文献

- 藤田矢郎, 1988. 日本近海のフグ類. 水産研究叢書, (39): 1-131.
- 林 公義・伊藤 孝, 1974. 館山湾南部(沖ノ島・鷹ノ島・西岬・洲崎)にみられる魚類について. 横須賀市博物館雑報, (19): 18-30.
- 林 公義・西山喜徳郎, 1980. 西湘定置網で漁獲された魚類. 神奈川自然誌資料, (1): 15-27.
- 東 祥三・林 公義・長谷川孝一・足立行彦・萩原清司, 1989. 伊豆半島須崎, 田ノ浦湾周辺海域の魚類. *Bulletin of the College of Agriculture and Veterinary Medicine, Nihon University*, (46): 175-185.
- 松岡玳良, 1972. 伊豆下田白浜竜宮島付近の磯に見られる魚類. 静岡県水産試験場研究報告, (5): 89-111.
- 中坊徹次 編, 2000. 日本産魚類検索 全種の同定 第2版. 東海大学出版会, 東京.
- 瀬能 宏, 1990. ハナダイー最近の話題—. *I. O. P. Diving News*, 2(1): 2-3.
- 瀬能 宏・牧内 元・武谷 洋, 1998. 魚類写真資料データベース (KPM-NR) に登録された水中写真に基づく熱海産魚類目録. 神奈川自然誌資料, (19): 19-28.
- 瀬能 宏・松浦啓一・篠原現人, 2006. 相模灘産魚類目録および黒潮流域の沿岸性魚類の動物地理. 国立科学博物館専報, (41): 389-542.
- 鈴木英夫・岸 幸広, 1982. 京急油壺マリンパークにおける採集魚. 京急油壺マリンパーク年報, (11): 23-27.
- 竹嶋徹夫, 1989. 相模湾初記録の魚類3種について. 神奈川県博物館協会々報, (61): 1-3.
- 山田和彦, 1997. 最近築地魚市場に入荷したフグの雑種. おさかな普及センター資料館年報, (17): 19-22.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2000. 三崎魚市場に水揚げされた魚類・IX. 神奈川自然誌資料, (21): 25-31.
- 山田和彦・工藤孝浩, 2006. 三崎魚市場に水揚げされた魚類・XV. 神奈川自然誌資料, (27): 65-66.
- 山田梅芳・時村宗春・堀川博史・中坊徹次, 2007. 東シナ海・黄海の魚類誌. 東海大学出版会, 東京.

山田和彦：相模湾海洋生物研究会

工藤孝浩：神奈川県水産技術センター